

意見概要(阿南市地域)

再編計画に対する要望・提言など

(1) 教育内容の充実に関するもの(14件)

整理番号	意見の概要
1	関連の地方自治体は、将来展望に即した専門高校を創ることに尽力する。(役所内に地域人材育成課でも設置し産学の連携を補完) 地域の主要企業とニーズを共有し、即戦力として対応出来る人材育成を協働する。(企業体験学習、企業からの教師の登用など)
2	新野地域周辺の職場を確保して地域を担う人材を育てて欲しい。
3	日本の教育においては、高度成長期の従業員を作る教育をやめ、世界に通用する人材育成、起業を目指す人材育成を要求する。
4	将来の生徒達が学び、高校生活を楽しみ、社会に役立つ人材が育成できるような教育内容の創意工夫もお願いしたい。
5	阿南工業に開設予定の新学科は、合併問題で揉めるのであれば、取り急ぎ、合併の前に設置して、どれくらい理想の学科なのか、示して頂くのも手だと思ふ。
6	工業科と総合学科との連携も考慮した学校づくりをする。
7	地域産業への貢献では地元企業へのインターンシップ授業の継続と企業の主力商品の内容の指導で企業を知り、そして対応する国家資格の取得を実現できるような指導をして頂きたい。
8	自分の勤める職場の行事には、地元高校生が多くのボランティアとして参加してくれている。これからも継続して欲しい。
9	生徒が意識・目的を持った学生生活を送れる指導をして欲しい。
10	学校・地域住民が一丸となって高校の再編・活性化に取組まなければならないと思う。補習授業の充実、体育の発展により就職・進学率の向上で魅力ある高校づくりができればと思う。
11	部活動の問題はどうするのか。阿南工業高校と新野高校では距離がありすぎる。移動するにしても練習時間が削られる他、チームワークを深めるコミュニケーションなどをいつとるのか。
12	県南部健康運動公園を生かした体育科を新設し、県南随一の魅力ある高校を実現する位の思い切った再編計画を期待したい。
13	新野高は、JRの駅に近いので農業科以外に食物科などを併設し調理資格を取れる様にしてはどうか。
14	将来の社会的ニーズに沿った学科、例えば福祉や医療の供給不足に備えての福祉や看護等の専門的な学科の新設等をお願いしたい。既存学科の増員と専門化(高校から、高等専門学校への格上げ)もお願いしたい。

(2) 総合型専門高校のあり方に関するもの(13件)

整理番号	意見の概要
1	新たに阿南総合高等学校を開校して富岡東高等学校の商業科の学科移管を行った上で、現在の阿南工業高等学校を阿南総合高等学校宝田校舎にして工業系の授業を行い、現在の新野高等学校を阿南総合高等学校新野校舎にして農業系の授業とビジネス系の授業を行い、徳島県南部圏域における一体的な「農工商連携教育推進高校」にする。
2	総合型専門高校を作るのなら、よりスペシャリティな必要性の高いものを設置して欲しい。子供たちが自覚を持って、自ら技術を学べるよう、外部から注目されるくらいのもので欲しい。
3	食文化に合った、野菜工場、バイオ科学、無農薬の土づくりと、自然栽培と発酵を、重点的に教育するとともに、それにとりまわ流通システムのコンピューター、電気、化学を組み合わせた総合学校がよいのではないかとと思う。
4	「産・官・学連携による地域密着型専門高校」 従来、基礎知識・技術を広く浅く教え、社会に送り出して来たが、近年は企業側のニーズの変化についていけずミスマッチが多発、結果、企業からは頼りにされず個人にとっても失望感・挫折感のうちに離職することになっている。そこで目標を地域の活性化、地域企業の発展、地域を創る人材育成に絞り、産官学の連携による地域社会にマッチングした専門高校とする。
5	地域に密着した専門的な実業高校が欲しいと思う。地元には日亜化学や新野地区の地場産業である缶詰工業、しいたけ産業等有名な企業がある。この産業を生かす為にも産・官・学で協力して、パソコン、化学、自然科学等の専門的な実業高校が必要ではないかと思う。今回の様な漠然とした普通高校、農業高校、工業高校ではなく、企業が欲しいと言う特色のある高校を目指して欲しいと思う。そして、優秀な高校生が地元で働ける職場を作って欲しいと思う。

6	<p>今後は新野高校を分校にするとの結論であるが、規模を小さくすることで、ある意味で特色があり、特化しやすい部分もある。これまでスポーツでは野球や体操、また、バイオの技術・伊島ささゆりの活動、市内の公共施設に花を配布する活動など、地域と一体となって取り組んできた様々な活動の火を消さないよう最高に特別な学校として運営をお願いしたい。</p>
7	<p>総合型専門高校として、職業教育等に力を入れて欲しい。就職などに役立てて欲しい。</p>
8	<p>子供たちが将来、仕事につけるような選択ができる学科を、多くもうけて欲しいと思う。</p>
9	<p>徳島、小松島の高校では、資格を取得出来る高校があるのに、阿南市には普通科が多い。阿南市内に、小松島西高みたいな高校が出来れば、将来子供達が働く時に役立つのではないかな。</p>
10	<p>総合型専門高校に複数の専門学科を併設する案について、全国で初めてと言える学科を大学や企業と連携して、県外の学生受入も視野にいれた優秀な人材の確保や育成ができるような学科を、1学科だけ考察して欲しい。</p>
11	<p>特色のある学校づくりには、富岡東の商業科も一緒に検討すべきではないか。学校の規模、生徒数だけで考えるべきではないと思う。</p>
12	<p>阿南工業の工業教育は、阿南工業高等専門学校と競合しており、県南における工業教育は阿南高専に任せる。もしくは、どうしても高校工業教育が必要であれば、新野高校総合学科の系列に工業系列を設置すれば良いのではないかな。</p>
13	<p>阿南工業の工業教育は、阿南工業高等専門学校と競合しており、県南における工業教育は阿南高専に任せる。もしくは、どうしても高校工業教育が必要であれば、新野高校総合学科の系列に工業系列を設置すれば良いのではないかな。</p>

(3) 農業教育・工業教育のあり方に関するもの(13件)

整理番号	意見の概要
1	<p>今後の日本を再建する大きな柱として「農業」があるのは間違いないと思う。分校と言う形でも新野高校を残すなら、「農業ビジネス」による独立採算を貫いてはどうか。農業法人が教育部門を持つという考えでも良い。とにかく、農業で自立できる姿を身をもって示さなければ、学生が学びたいと思うもの等何も無い筈。授業＝生産活動。収益が上がれば授業料も下がらぬ事を考えるべきと思う。一昔前とは様変わりし、今や農業はあらゆる科学的知見が求められる。自動車産業などより遥かにすそ野の広い産業なのである。新野高校は「儲かる農業の実践」の場であるべきだ。学校の運営費も全て農業収入から得る事が出来るというのを実証して見せてもらいたい。</p>
2	<p>農業には多くの難題があり、中でも高齢化は厳しく、若者は農業から逃避している。そこで栽培技術の習得と言うよりも、農業から派生するビジネスの構築(6次化、法人化など)を主体とするアグリビジネス科として次世代の農業経営者を育成する。</p>
3	<p>農業により阿南市を活性化しようとの意志があるなら、農業科を拡充すべき。農業で利益を上げ自活するための基礎を習得する場にすべき。販路開発や農業経営など、従来の農業技術に加えて個人事業主として農業事業を軌道に乗せるための学習内容にすべき。</p>
4	<p>新野を農業科として残すのであれば分校としてではなく、将来県内の農業関連に就ける人材、これから高齢化の進む農業後継者、最も大事な安心安全な農作物の栽培・研究や花卉類の栽培、農産加工等、又それを支える営農指導員、実際に現場で働く優秀な人材を講師とした徹底的な指導の元で、本当の農業人を育てる教育を行える学校に出来ないだろうか。これこそが本当の農業教育である。</p>
5	<p>農業系は、徳島県が将来も京阪神の食糧基地であることから大切である。</p>
6	<p>今回、提案されている再編案では、地域協議会が提出した報告書の設置学科として盛り込まれてない農業科が含まれている。これは、「高校再編の基本的な考え方は、現在の学科の存続を基本に、これまで培ってきた教育内容を活かしながら、新しい高校の在り方を検討していくこと」、また、「地域社会の発展に貢献し、地域にとってかけがえのない高校となるよう、県教育委員会において更なる検討を進めていただきたいこと」の報告書の提言を受けての設置であると考え。農業科は、これまでの総合学科の系列での農業教育に比べ、より専門的な教育が行える学科であり、また地域に根ざし、地域の教育力が活用できる学科である。</p>
7	<p>阿南工業は、阿南市が新産業都市に指定されたときに設置された学校であり、学校の周辺は、徳島県でも有数の工業地域である。キャリア教育に必要な企業でのインターンシップが日常的に体験でき、現在の校地は工業教育を展開する上で最適な環境であると考え。</p>
8	<p>学科については新野校を農業科のみとするのであれば、日本でも有名な農業校として考えて頂きたいと思う。あと、数十年すれば、中国での野菜消費が増え、日本にとって農業が重要視される時がくるのではないかと私は思っている。それ故に、どんな学校にするのか、日本全国の農業学校を視察するなどし、より良い情報を収集し、あるいは学識経験者なども相談頂き、日本の将来に役立つ、さらには農業大学に進学できるような農業科として頂きたいと考える。</p>
9	<p>これからの農業は、百の名前の勉強が必要である。それには機械、科学、簿記、化学、生物学とあらゆる学問が必要で、新野町にはそれらの条件が全部揃っている。これからの農業は最先端の技術が必要で、日亜化学のLED照明、新居バイオ、四国バイオ、メグミフーズ、浅井岳詰と未来の植物工場に対応できる産業が新野にはある。それと将来、原子力発電が停止になったときにも、地元で豊富にある放置された孟宗竹が、バイオ燃料として利用できる。</p>

10	現在、日本の農産物の生産額(8兆円)は世界第5位であり、農業は、他産業と同じようにプロ化している。補助金農政にたよらない、FTAやTPPに反対しなくてもよい、世界に通用する農業教育が必要だと思う。
11	工業科は、本当に必要か。工業高校卒の人材を周辺企業が必要としているのか数字を持ち合わせていないので判然としないが、大半の企業は大学の工業科卒程度を欲しているのでは。もし、工学系大学への進学を本校の存在理由第1に挙げるなら、理系重視の普通科とすべきでは。
12	新野高校を実業高の先端高校として生かしてはどうか。農業高専として、実業界のトップを育てる実業高校として、林業・農業・水産業・酪農・養殖漁業など一次産業の集約高として特殊技能、高度技術をもち、世界にほこれる実務者の人材育成に方向を示し、生涯かけて取組みが出来る人的環境を整備願いたい。
13	新野町に、地元の良さを活かして農業専門学校であるとか農業大学であるとか利を活かした教育機関もしくは研究機関・施設等を招き入れるべきだと思う。新野から日本の農業を発信していく意気込みが必要。

(4) 教育環境の整備に関するもの(24件)

整理番号	意見の概要
1	校舎も耐震を考えると機能的な新校舎にして欲しい。
2	古い校舎になっている。県下で一番古いと聞いた。耐震性のある新しい校舎を作って欲しい。
3	耐震性のない古くなった校舎の建て替えを検討して欲しい。
4	阿南工業高校の耐震性の問題等クリアできるよう検討して欲しい。
5	決定したときには、早急に校舎の全面建て替えをお願いしたい。校舎が老朽化しているが、耐震工事のままならない状況である。子供たちがこんな校舎で生活しているのは、とても心配である。
6	子どもたちにとって学校は学びやすい環境こそ大切である。ぜひ阿南工高が耐震性をクリアできるよう校舎の建て替えを検討して欲しい。
7	現阿南工業高校校舎は老朽化が進んでいるので、防災面からも子供たちが安心して学べる様、新校舎でのスタートを熱望する。
8	阿南工業高校の校舎は、県内でも最も古い校舎の一つであり耐震工事では安心できないと思われる。骨子が固まったら校舎の建替への検討をお願いしたい。
9	この案が決定したときには、是非とも早急に校舎の全面建替えをお願いしたい。現校舎は劣悪な環境としか言いようがない。老朽化も激しく、県下の学校で最も古い校舎ではないか。一刻も早い建替えをお願いしたい。
10	阿南工業高校の校舎が老朽化して危険である。検討の上、早急に改築をお願いしたい。
11	今後は古くなった校舎の建て替えと更なる施設の充実を検討して欲しい。
12	校舎が老朽化しているので建て替えについても検討して欲しい。
13	私の子供たちがスポーツで大変お世話になり思い出がある土地なので、建て替えの方向でお願いしたい。
14	新しい事が出来るような、校舎にして貰いたい。
15	校舎も築50年を経て非常に古くなっている。建替場所については現場がベストと考える。
16	近隣には那賀川が流れており高所の建物が無いので高校の再編時には、校舎の耐震性を確保して頂き、震災時には避難場所の受入先にして頂くよう検討をお願いしたい。
17	校舎の老朽化が進み雨漏りが激しいので、校舎の建て替えか改修をお願いしたい。
18	阿南工業高校は、耐震対策もなく、不安になった。県下一古い校舎と思う。学校統合に際して新しく建て替え、安心して学業に励める事が一番と思う。
19	現骨子案が固まったら、新しく生まれ変わる学校に生徒が安心して学習できる校舎等の建設をお願いしたい。阿南工業高校の校舎は県内でも最も古い校舎のひとつである。耐震補強工事では安心して学習できる校舎と言い難いと思う。 (4件)
20	県立高校のうち教室にエアコンが設置されていない学校が4校と聞いている。いずれも再編統合の対象になっている学校である。同じ県立高校生徒でありながら、快適な環境で勉強できる者と、片方では蒸し暑い教室や冬季無暖房の教室で学ぶ者がいる。骨子案は再編の時期を平成30年としているが、学校の設置者として一日も早いエアコンの設置をお願いしたい。
21	県立高校のうち教室にエアコンが設置されていない学校が4校と聞いている。いずれも再編統合の対象になっている学校である。同じ県立高校生徒でありながら、快適な環境で勉強できる者と、片方では蒸し暑い教室や冬季無暖房の教室で学ぶ者がいる。骨子案は再編の時期を平成30年としているが、学校の設置者として一日も早いエアコンの設置をお願いしたい。

(5) 高校再編の方向性に関するもの(30件)

整理番号	意見の概要
1	阿南工業と新野高校が、統合する事には、賛成である。工業的、農業的と専門的な学習が出来る高校が統合して、徳島市内の高校にレベルが負けないような学校になって欲しい。大きくなると部活動の数や人数も増えて、子供達の勉強面、スポーツ面でも選択肢が増えるのでいいと思う。
2	新野高校・阿南工業高校それぞれが県内地域はおろか、全国から生徒・学生が集まる学校・教科・授業内容にしてみたい。学校の魅力・あり方によって、生徒が集まることを実践願いたい。統合・合理化による縮小をめざせばめざす程、県南からは高校学校の生徒・学校数は減少の一途をたどり、最終的には徳島市内に数校が残る現実となるだろう。すべてを徳島市内に集中させることが合理的な目標か。人口の減少、市町村の統廃合を繰返すばかりでなく、徳島市以上の街づくりをしようと考えないのか。周辺がなくなれば、徳島市も存在しない。
3	阿南工業、新野高校ともに専門教育を行っている学校であり、専門教育を行う学校では、地域と連携した教育が行いやすく、地域の教育力を活用した学校づくりを積極的に押し出すことによって、学校の活性化を図っていく必要があると考える。これは、これまで県が進めて来た高校教育改革の柱の一つの、地域に根ざした、地域が育てる学校づくりであり、このことは新しい学校においても同じことが言える。
4	若者が定住する事は人口減を止める最良策であり、地元での就職促進は若い人材育成の上に成り立つものである。
5	歴史と伝統を重んじて欲しい。
6	少子高齢化が進む中、高校再編は避けて通れない問題であることは理解できる。
7	今回の阿南市地域の高校再編計画(骨子案)において、一番に考えなければいけないことは、ただ単なる教育的、行政的案により統合・合理化するのではなく、地域の生徒のことを考えた教育的環境が発展的条件を満たし、学力向上及び地域活性化を目指すものでなければならない。
8	場所の問題より、どういった子供たちを輩出していくのか明確に示して頂きたい。
9	特に県南地域における、地域を担う人材育成を念頭に置いた教育システムや専門教育のあり方を慎重に検討すべきである。
10	新野高校と阿南工業高校との再編ですが、少子化の中において再編は止むを得ない事だと思ふ。しかし、「阿南工業、あるいは新野高校のどちらを本校にするのか」という点については、どちらを本校としても反対意見が出るのではないかと思ふ。阿南工業を本校とするならば新野を分校とは呼ばず、新名称の〇〇高校を阿南工業地とし、新野高校を〇〇高校新野校としてはどうか。
11	県南、特に阿南から南方の生徒を集める様に努力して欲しい。
12	普通科高校の再編に手を付けないのが、再編がスムーズに進まない理由と考える。専門高校ばかり再編するのかわからない。地元校に多くの生徒が進めるように、全県的に考える必要がある。全体的な編成の方向性が見えない。例えば、水産高校を徳島に持って行く理由がわからない、阿南地域の再編に含めてもいいのではないか。中高一貫校のことに触れていたが、設置が編成に影響すると考える。
13	今の普通科教育校の富西・富東では、これから3年・5年先は、今の2校だけではほとんどの中学生が近くの普通科に行けなくなる。
14	富東、富西を大事にばかりしないで両校の定員数を削減し新野、阿南工業に振り分ければ解決する。子供を土地に残せば、過疎化は心配ない。
15	富岡西と富岡東の普通科を統合したらどうか。
16	高校の地域のバランスについても意見が対立していたが、阿南市地域の高校再編計画であるので、県下全体を考えるのではなく、県南部を中心に考えるべきではないのだろうか。
17	阿南市街には富東、富西、と2校も普通科があるので、そのすぐそばの阿南工業を分校とし、これを専門高校らしい、ものづくり、農商工の新たな時代のニーズに対応した特色ある学校にする。
18	同じ学科を設置している富岡西と富岡東及び阿南工業の3校統合した上で2校に分割して過疎地に学ぶ生徒の希望に答えるべきである。県下一円に平等に勉学の場が与えられるべきで、生徒数が少ないからと言って、切ってしまうやり方はがまんならない。地方に存続させ生かしてゆく方向を見いだして欲しい。
19	農業より工業、専門学科よりも普通科を重視する考え方の見直しや発想の転換を図らないと、県南における地域を担う人材は育たないと思う。
20	農業より工業、専門学科よりも普通科を重視する考え方の見直しや発想の転換を図らないと、県南における地域を担う人材は育たないと思う。
21	母校を残して欲しい。
22	母校を残して欲しい。
23	現在の情報を聞く限りでは、「少子化となったので学校を再編する」と安易に、合併をしようと考えているのではないのか。将来の日本を背負っていく子供たちが、喜んで学ぶ学校づくりとなっているのか明確な判断ができない。

24	現在の環境における合理化や縮小からは、地域再生の期待は生まれないと思う。国・県・市・民間企業・地域住民が一体となって知恵を出すことによって県南すべてをまきこんだ政策になるだろう。生徒数が少ないから統廃合・合理化といわず、徳島の人口を伸ばし、先進県徳島をめざすため大いなる議論を期待する。これからの社会、「できません、減少します、減額します」では、本体もなくなることは明らかと思う。発想を変えて出来ることに精力を集中して進めて頂きたい。
25	これからの時代をどう運営されるべきか、どうすれば残してよかったと、結果的に思われるか考えてみると、どうしても農業科だけではなく普通科を置くべきである。阿南に集中した教育ではなく、子供達の将来のため、反対に地域にすばらしい高校づくりを考えてみないか。これしかないと言う考えではなく、今一度、地域教育にと新しい発想のもと進もう。地域教育を全国に示そう。
26	新野校を置く事は、入学希望者の減少が続けば、存続に危惧を抱く。県南唯一の工業系実業校の充実を図るには、一気に本校に一本化し、教育課程を魅力あるものに強化する方法も検討されるべきではと思う。
27	場所については、南海・東南海地震の事を考えると、阿南工業が標高5m程度に対し、新野高校は標高30m程度あり、川が氾濫すると言われることから、1校くらいは新野のような標高が高い地域にあっても良いのではないかと思うところもある。ただし、阿南工業の設備を移設するとなると高額な費用が発生し、徳島県の財政などを考えると、新野を本校とするのは難しいことは理解できる。とはいえ、標高の高い新野をメインとするのか、標高の低い阿南工業をメインとするのか、どちらを選択するのは県の最終判断以外にはないので、十分な検討をお願いしたい。
28	通学の交通機関の利便性を考慮して配置して欲しい。
29	交通の便(自動車通学)を考えてもらいたい。子供達も3年間通学するのだから。
30	阿南工業高校への通学は、とても不便で、JRの駅まで、自転車で30分くらいかかる。新野高校へも同じくらいである。30分かけて駅まで行き、汽車にのり、また、自転車で20分、便利な人もいるかもしれないが、とても不便な人もいる。

(6) 高校再編の進め方に関するもの(20件)

整理番号	意見の概要
1	高校の再編は不可欠であるが、教員の士気の低下が問題である。現在の若者が悪いのではなく、ゆとり教育のへい害である。競争原理からものづくりのアイディアが生まれ、国際競争に勝てる若者が多くなり失業者も少なくなると思う。学校の設備や環境よりもまず教員の質の向上が大切である。体験学習よりも、教員が職場体験を3年ごとに3ヶ月位すべきであるとする。職業訓練ではなく幅広い基礎知識と専門性を学んで欲しい。
2	もっと住民の声に耳をかたむけて欲しい。
3	これから先も県民より意見募集するとのことだが、形式だけのものに終始するような状況が見える。先の教育委員会の考えを継承するのではなく、これまでの「地域の声」を十分に検証して欲しい。
4	今後高校へ通うであろう未来の生徒らにも、意見を求める懇話会等を試みることも必要ではなからうか。
5	本校と分校に分ける意味はどこにあるのか、新野高校は本当に地域の方々に支えられていると思う。少しでも新野の方々の声をあげている方々の声を聞いて欲しいと思う。
6	阿南市地域の説明会では、「物言わぬ、物言えぬ」参加者も少なからず有った事を認識して欲しい。
7	県教委は地域の声に真剣に向き合っていない。県教委は「意見を聞く」としているが、その後の対応について、県の考えと共に公表すると言うだけでは、それだけで多様な意見が反映されたとするのは不十分ではないか。形だけ意見を聞いて、聞き置くだけにするつもりではないのか。もっと県民に誠意の見える方法を用いるべきである。地域の声が十分に反映される保証があるように見えない。県教委は、この工程では意見反映は不十分であると認識すべきである。
8	地域住民の意見をゆっくり、よく聴取し、迅速な結論を出さない工夫と努力を期待する。
9	高校再編には、教育を受ける生徒の声、教師の意見、保護者の意見、そして地域の声を十分反映して欲しい。
10	もっと地域の方々の話・意見を取り入れたほうが良いと思う。
11	たった1回の説明会で地域に説明したとするのはおかしい。住民が納得できるような説明会を開催し、地元の理解を得る努力が欲しい。
12	1回だけの地域説明会で地域の住民の人が納得はできない。総合学科ができてまだ10年である。生徒たちの色々な可能性をのばして行く方向でがんばって頂きたい。
13	説明会が少なすぎる。新野高校が、本校でなくなる説明がない。
14	パブリックコメント制度を生かし、制度通り新野でも説明会を行い、新野町民から色々意見を募って欲しい。
15	地元公聴会を開催して骨子案を作るべきでなかったか。公聴会では結論ありきの発表をして今更意見募集とは、如何なものか。
16	阿南市地域協議会の報告書には「現状をもとに拙速に行うのでない」という記載もあり、県南地域の生徒数の推移を見るともう少し時間をかけて慎重にやるべきだと思う。阿南市内4校体制はまだしばらく可能であり、阿南市全体の高校教育のあり方を視野に入れて検討すべきである。

17	案の作成に当たっては「統合済も含め、地域住民の意見を充分考えてやった」との事だが、単にコスト面や生徒数減等々だけでの再編が最良策と言えるのか。それは、担当者の机上論であり、統合あるのみという既定路線を示しただけの事と思われる。説明会では、「一極集中にしないとの約束ではなかったのか」との間に対して、「案は、普通科で考えた事で、専門高は、県内全体で考えた」との回答があり、偏差値重視・専門高は重視していないとも受け取れる県や県教委の考えに失望した。
18	県教育委員会にすべて委ねるという解釈には、ならないと思う。「やはり地域の声反映される形でなければならない」との質問に、「パブリックコメント、意見募集の実施など」で地域の理解を得るとあるが、今回の説明会にしても開催したという言い訳に過ぎず、パフォーマンスにすぎない説明会であった。もう一度委員の方々の招集をお願いし、議論の再検討をお願いする。
19	高校教育の再編は経済合理性でなく人づくりであることを基本とし、学生、生徒の皆さんが未来に期待が持てる学校教育制度とすべく再考を期待する、併せて次のステップとして新たなスタートとなれる方向を指針として示し、取組む方向づけを何よりも要望する。
20	平成18年6月本協議会が設立され23名の市教員、学識経験者、保護者、現任教員、それぞれの代表が選ばれ9回にもわたり協議会が開催され、2校の歴史、伝統を踏まえ再編統合について検討を重ねてきたにも係わらず、再編見送りと言う結果にとどまった。その後言い訳の骨子案説明会の開催、今回の意見の募集もそうである、ただのデモンストレーションまた言い訳に過ぎないように思える。

[参考]再編計画【骨子(案)】に対する賛否について

(1) 骨子案に賛同される方(39名)

整理番号	意見の概要
1	今、私の家から自転車で通学できる高校は富岡東高校・富岡西高校・阿南工業高校の3校がある。将来おそらくその3校のいずれかに進学すると思う。その2校が普通科で1校が工業科と、大変バランスがとれていると思う。しかし将来、工業科の高校が新野町になるなら、子供が「工業高校に進学したい」と行った場合、JRを利用しないと行けなくなる。この経済的に厳しい中、自転車で通える場所にある高校をわざわざ遠くに持っていく理由があるのか。現在、阿南工業の大半の生徒が自転車で通学していると思う。その生徒に経済的に負担がかかる場所に学校を設置して意味があるのだろうか。このままの骨子案でお願いしたい。
2	「高校が無くなれば地域が消滅する」かのような運動には反対である。地域活性化があってこそ初めて教育の重要性が論じられるべきで、教育が地域を救うと考えるのは本末転倒。少子化で地域の力が衰えているならば、高校が無くなっても一向に構わない。
3	現在の骨子案に賛成する。現阿南工業高校は、県内一広い敷地面積を有し、学業をはじめ、部活動においても野球、サッカー、ホッケー等一度に競技を行う事が出来る。ホッケー場は、H23年3月に改修工事が完了して新しく生まれ変わった。
4	「新しい学校づくり阿南市地域協議会」委員として、計画に最初から参加させて頂いた。その会合に於いている意見が出た。しかし、結論は出なかった。場所的な利便性、校地面積等について、生徒達の事を考えた場合、今回の「骨子案」にて高校再編を進めて頂くことが最良であると思う。今回の「骨子案」のとおり学校再編を進めて頂き、子供(生徒)達の事を中心に考えた学校づくりを切望する。
5	阿南工業高校本校、新野高校分校、骨子案に賛成である。阿南市内全体で考えると現骨子案が最もバランスのとれた案だと思う。
6	阿南工業高校は、広い敷地面積、交通の便等立地条件も最適だと考えられる事から、高校再編計画案に、賛成である。徳島県南に位置する阿南工業高校は、技術高校としての歴史があり、勉強並びにスポーツに取り組む環境も整っている。
7	阿南市地域の高校再編計画についての現阿南工業の位置は、阿南市の中心であり、妥当である。よって現計画の骨子について賛成する。
8	阿南工高は広大な敷地を保有し、スポーツ活動等、幅広い分野で有意義なスペースが確保できる。
9	県教委の高校再編計画(骨子案)について妥当なものと思う。子供達が通学するには丁度よい位置であり、学びやすい所と思う。
10	本校に、工業科と総合学科を併置する案は、学校規模が確保できるものであり、また学科の特長を生かし相互に相乗効果が期待できるものである。従って、この再編案は長年協議され地域の意見が集約された報告書の提言を踏まえて、県教育委員会でよく検討された結果の再編案であると考えます。
11	阿南市地域の子供たちの利便性を考えると、この骨子案になるのは当然だと思う。実際に学校に通っている子供達や親たちの意見を尊重して欲しい。是非、現行の骨子案で高校再編を進めて欲しい。
12	阿南市地域の高校再編計画(骨子案)に賛成である。地理的条件、周辺環境、校地面積、通学条件など生徒の為にベストの選択である。将来新規学科増設の必要性がある場合も、土地の形状を見る限り、極めてやり易い環境にある。工業系では大きい比重を占める設備面でも、現状そのまま使用可能のようで、経費的に安上がりと思われる。
13	現在の骨子案に賛成する。学業においても、スポーツ、文化活動においても、レベルアップし向上していく学校になると思う。
14	賛成する。包括的に様々な種別の学習を受ける事が出来るのは、今の社会に対しても大変有意義な事と思う。
15	現在の骨子案である本校は阿南工業高校、分校は新野高校に賛成である。理由として校地面積は四国多数の広さを有し、生徒も小松島、那賀、海部からも通学しており、阿南市以外からも工業高校としての必要性が認められている。仮に新野に本校を移すとして考えた場合、設備、実習用機材等の移転は莫大な予算を伴い、残された校地は何んの役に立たないものとなる。
16	子供達のこと、将来のことについて考えると骨子案に大賛成である。今の位置に存続することを希望する。
17	徳島県の南部の技術高校としては、今ある宝田町に置くのが最適だと思う。骨子案に賛成する。子供達の通学性、便利性等かについて考えても大事な位置だと思う。
18	交通の便、敷地の広さ等の立地条件を考えると、現阿南工業高校に本校を置くのが一番良いと思う。
19	阿南工業高校の方が立地条件(交通状況、敷地面積等)が良い。
20	現在の骨子案である、本校を阿南工業、分校を新野に賛成する。子供たちの通学の利便性を考えると、この骨子案になるのは当然だと思う。現在の阿南工業は敷地も広く、学業、部活動においても学校生活を送る場として適切である。
21	子供達の事を一番に考えると、県南の中心部に立地するのが最適である。骨子(案)に賛成である。
22	交通の便・県南の中心部、環境において阿南工業がよいと思う。

23	新野高校農業科だけになると農業科の名称を変えたら、少しでも新しそうな分野になると思う。例えば、〇〇高校新野キャンパス、バイオサイエンス科とか良いのではないか。
24	徳島県東南部における総合技術高校の位置づけにおいて、現阿南工高校は立地条件等最適であると思われる。
25	阿南市、小松島市、海部郡を含めて、徳島県の東南部の総合技術高校としての位置づけにおいて、現阿南工高校の立地条件は最適であると考えている。県教委が進めている高校再編計画(骨子案)については、賛成である。
26	県教委の高校再編計画は、新野・阿南工業両高校の特色(地域・学校)を活かしたのとなっており、この計画(案)の賛同する。本校設置はやはり現阿南工業高校が望ましいと思う。
27	県教委の高校再編計画に賛成する。阿南という町は県南においてはいろいろな意味において流行の発信源だと考える。学校だけではなく通学時においても新しい機械、電気設備、工事現場など眼にすることがより多く体験できる町である。町自体が教育の現場であり、そこにある阿南工業高校の立地条件は最適と考える。
28	現在の骨子案である、本校を阿南工業高校に、分校を新野高校に賛成する。阿南市地域の子どもの利便性、学校敷地面積の広さ等を考えると適切であると思う。
29	「本校阿南工業」には、県下一の校地と地場産業としての大企業から中小企業も近くに立地しており、実習研修が必要な工業系実業高校の「校地」としても最適である。「校地問題」は悩ましい問題として「地域協議会」においても「県教委のご判断を」求めたものと理解している。その上で、ご検討された「新高校の本校は現阿南工業高校に、分校を現新野高校に設置する骨子(案)」を提案されたものであり、農商工連携教育の推進からも「賛同」する。「骨子案」に基づく、再編計画を樹立し実行して欲しい。
30	高校教育の3年間は、頭も身体も最も成長する時期である。そのような子供達に、欠かせない書店、商店もない環境の中で高校生活を楽しみ、充実した学習が出来るか、心配である。阿南工業高校は、新野町だけでなく、市内外から高校生が学んでいる。宝田町は近くに普通科校もあり、高校生同志の交流やはげまし競争もあって、成長してゆくのではないかとと思う。したがって、県教委が示された本校は宝田町(現阿南工業)に置くのが最適だと思う。
31	現行の骨子案に賛成する。もし、新野に本校を置くとなると、現在自転車で通学できる生徒の大半がJRでの通学を強いられることになる。経済的に厳しい状況の中、新野高校に本校を置くことが阿南市地域に住む子供たちや保護者にとってベストの選択とは考えられない。現行の骨子案で再編を進め、魅力ある学校づくりを切に願う。
32	現在の骨子案である、本校を阿南工業高校に、分校を新野高校に賛成。膨大な投資と地域性、利便性、学生が安心して学校生活ができる環境を満たすベストの選択と考える。両校の生い立ち、設置学科を考えた場合でも、骨子案で進めて頂き、本当に魅力ある学校づくりを切に願う。
33	委員会の骨子案に賛成である。生徒数の動向・社会情勢の変化等を考えるとこの案になる。高校の立地条件、交通・通学の利便性等子供たちのことを考えてもこの案が最適だと考える。
34	再編計画でよいと思う。
35	教育委員会の骨子案に賛成である。現在および将来の社会状況を考えると骨子案の内容が妥当と思う。
36	現在の骨子案である、本校を阿南工業高校に、分校を新野高校に賛成する。阿南市地域の子供たちにおける利便性、学習環境を総合的に考えたら、現在の阿南工業高校に本校を設置するのが望ましいと思う。その理由としては、阿南工業高校に通学している大半の生徒が自宅から自転車で通学していることと、阿南寮に近いということが挙げられる。阿南工業高校は学習環境はもちろん、敷地面積が広く、部活動も活発に行える。野球・サッカー・ソフトボール・硬式テニス・軟式テニスの各部が一斉に活動できるグラウンドの広さは西日本でも有数である。現行の骨子案で高校再編を進めて頂き、本当に魅力ある学校づくりを切に願う。 (4名の連名)

(2) 骨子案に賛同されない方(168名)

整理番号	意見の概要
1	阿南総合高等学校新野校舎に総合学科を開設する。
2	少子化における高等学校の再編は止む得ないと思うが、県南地域における前回再編した海部高校と、水産高校の統合における廃校にともない、旧日和佐町に2カ所もあつた高校を全部無くしてしまい、県は地域経済を衰退させた大失敗を犯した。その大失敗にも関わらず、再び机上の空論と教育委員会の身勝手な思惑でまた新野町を衰退に追いやることをしようとしている。すでに最悪の結果が出ているにも関わらず、またひとつの町というか県南地域を衰退に追い込もうとしている。新野高等学校が無くなれば、阿南市の中心市街地から海陽町まで広範囲の無高校地域が発生し、その地域に住む子どもや保護者の精神的、経済的負担が重なり高校生難民が発生するおそれがあり、さらにただでさえ県南地域の事業所の減少で地元住民が住みたくても住めない現状なのに、尚一層拍車を掛ける結果は火を見るより明らかである。新野高等学校、阿南工業高等学校を再編するなら阿南工業高等学校に本校を設置せず新野高等学校地に設置すべきである。阿南工業高等学校の跡地の売却益は、新野高等学校より遙かに上で県財政への負担も減るはずである。
3	新野高校だけ分校になるのは、反対である。分校になったら、部活の選択が少なく、人数も少なくなるので、やめて欲しい。

4	<p>今まで、デモ行進、各所への陳情に参加したが、骨子案にはそれが反映されていない。それどころか新野は、定員40名の農業科だけになっている。こんなことでは今まで何のために時間と労力をついやしたか疑問に思う。わたしは1995年8月から県指定天然記念物、絶滅危惧種オヤニラミの保護を続けているが今環境が一番大事である。新野地区の教育環境は、大変いいと思う。阿南市は野球の町と宣伝しているが、阿南市の高校で何故新野高校が甲子園にいったか、お解りか。新野には気力がある。そう言う意味で新野に本校を置くように、よろしく願いたい。</p>
5	<p>工業系統の学科は高専があり、徳島市寄りの中学生は科学技術高校もあり、あまり重要視しなくてもよい。列車の沿線にある新野高を中心校にして、南部全体からの中学生を集めるのが好ましい。海部郡の奥からは阿南工業は通学しにくい。敷地の売却も阿南工業が高く売れる。もともと阿南は3校が近すぎる。将来、那賀高校の地区も過疎になる恐れがあり、富岡地区より新野高校の地区に近い。高校は汽車の沿線が通学に便利である。地図で見てバランスは新野地区に中心校を置き、将来は阿南工業高(分校)地区を廃止が望ましい。</p>
6	<p>新野高校を農業科のみを残し新高校の分校とするということであるが、そんな高校に夢と希望を持った中学生が進んで入学して来るとは考えられない。数年定員割れの状態が続く、その時教育委員会は「地元の強い要望で学校は残したが、少子化の影響もあり定員割れが続く学校の存続が困難になりました」と言う予定なのか。</p>
7	<p>新野高校は昭和18年に設立され、多くの有為な人物を輩出している。卒業生には東京大、京都大をはじめ有名大学に進学した者もいる。また、野球では甲子園に二度出場し、いずれも初戦突破し、強豪の横浜高校に勝つなどしている。このような高校が分校になるなど到底納得できない。農業科だけになるということは、中学生の進学希望等を考慮すれば、将来の廃校を念頭に置いているとしか思えない。</p>
8	<p>旧新野高校での分校は必要ないと思う。分校を残すのであれば高校の再編の意味がない。阿南工業と合併するのであれば、本校で、すべての科を設置するのが本来の意義であると思う。</p>
9	<p>阿南市中心部に学校が集中しすぎる。市北部の子供は交通の便が良いので市外・市内と選択肢が広いが、市南部の子供は利便性が悪い。</p>
10	<p>高校再編の地域協議会の委員をしていた。肝心の設置場所や新高校の学科編成方針など話し合った事は無かったのに、唐突に骨子案が出され、協議会を無視した一方的なやり方には納得出来ない。解散後は、骨子案を出すまでの手法として、新たな協議会的な機関を設けるとの約束通りやって欲しい。県南住民にとって、海部郡・那賀郡の地理的環境を考えると、一極集中は絶対避けて、学習の場のバランスを考慮した配慮を期待したい。新野高校で培った総合学科は残し、この上に看護、商業、化学等を加えて、これまでのノウハウを生かした魅力ある高校教育を期待したい。</p>
11	<p>1局集中は県南(海部・那賀)を考えると決してよくない。将来の南海地震を考えた時、阿南工業高校より新野高校に置くべきと思う。学校をなくして地域の活性化はあり得ない。新野高校の存続を希望する。駅に近く地理的に通学に便利な場所と云うことも設置に大事な要件と考える。白々の通学の事を考えて欲しい。</p>
12	<p>骨子(案)に反対である。骨子(案)では新野町がさみしい。総合学科に力を入れて欲しい。スポーツではアグリアナン球場を使う。</p>
13	<p>新野高校は、昭24年開校し創立が古い歴史伝統校である。新野校地への生徒通学の範囲は、特に阿南市内は勿論、南は海部郡、東は小松島市、西是那賀町等からの交通便は容易であり、通常の国道・県道の他に、小松島～阿南～美波町に通ずる高速自動車道も、近く着工となっている。JRは牟岐線新野駅があり、その駅前近くが新野校地である。新野地区住民は、昔から学校に深い愛着心と協力が根強く、学校環境の良い土地柄である。新野高校が県当局の指導のもと、総合学科として生まれかわって行く学校教育充実のため、学校当局、学校生まれかわり支援協議会、新野高校教育振興協議会や同窓会、新野高校に関係する市内役員有志、PTA等が総合学科誕生にあらゆる努力を重ねその尽力が、現在の総合学科が根付いている。その総合学科を誕生させた新野校地に置くこと。</p>
14	<p>今回の方針は当初から阿南工業ありきのように聞こえた。今これからの子供たち又阿南市の地域を考えての再編なら、今後、那賀高、海部高校に通われてる生徒の激減を考えなければならないのは当然で、現新野校は絶対に必要であると同時に、できなければ県南地域の益々の過疎化が懸念される。新野高校の総合学科は今期で10年目に入り、生徒の意気込みも他の高校生に劣らず、国立大学の進学率についても素晴らしい結果である。今後は化学、看護、ともに取り入れ阿南高専とのタイアップそして天下の日亜化学に限らず地元企業との連携を考えるとともに、素晴らしい教員と学べるキャンパスをと考える。</p>
15	<p>農業科だけでは廃校のおそれがあるので、総合学科を残して欲しい。県南(海部高校)から阿南市内までの高校がなくなるのが心配である。現在の阿南工業は駅に遠く通学の便が悪いと思われる。その点新野高校は駅に近く大変便利だと思う。</p>
16	<p>新野高校を農業科だけでなしに総合学科も一緒に残して欲しい。現在の阿南工業は駅に遠く通学の便が悪いと思われる。その点新野高校は駅に近く大変便利だと思う。</p>
17	<p>阿南工業との統合は新野高校周辺の不活性化となり、分校化することは高校本体が無くなる事態となるので、今までの様に総合学科を残して欲しいと強く思う。</p>
18	<p>先5月24日の阿南市地域の高校再編計画説明会に出席して、特に新野住民として感じた事は、歴史ある新野高校を分校との案を聞きガクゼンとした。絶対分校は反対する。少子時代と言う今日では、工業学校へ行き、県外へ出て行く生徒を出すより、環境の良い新野高校で県南部のレベルの高い総合学校を作り、生徒が地元阿南に定着するような学校にするのが今日の教育でないかと思う。</p>

19	阿南工業を本校にすることで市内中心部に高校が集中する一方、阿南市以南のJR線沿線では海部まで高校がなくなる。新野高校・校地に統合存続は賛成するが、新野高校を分校とする県教委の再編骨子案には反対である。分校は将来の廃校を見据えた措置ではないか。特色ある教育を望みながらも尚、普通科志向が強い中で果たして分校への入学希望者がいるか疑問である。新野高校の校地に統合存続を求める。
20	新野町に高校がなくなると、阿南市街地から海陽町までが高校の空白地帯になる。農業科の存続は難しい。総合学科で農業教育を含めるべきである。
21	現在阿南工業高校を存続させ、新野高校の農業科を分校として現地に残そうとしているのは、一部農業関係の設備が統合できないことのみで終始しており、次の未来があるのか。阿南工業高跡地を医療系大学に阿南中央病院を附属病院として生かす道もある。救急医療特区としてエキスパートの先生を集め、全国から医療にこられる街(地域)にして頂きたい。医科大学・医学専門学校など高度・最先端医療を集約してもらいたい。これにより地域産業・人口も大きく伸びるだろう。そうすれば新野高校は存続校の拠点となり生まれかわるだろう。一方で、実業高校から実業大学と続くエキスパート人材も育成できることだろう。高校から大学への関連性のある教育のスタートも出来るように思う。
22	新高校は新野町現地とし、骨子案は全面否定する。農業科は総合学科あつてのものであり、単独では存続できない無意味なものである。今回の阿南における高等学校再編統合には賛成であるが、現阿南工業高校を本校、新野高校を分校とすることには反対である。県教委は新野高校を分校としておき、いずれは廃校にする考えのように思えてならない。阿南市街地に4高校(高専含む)を集中させると、阿南以南は海部高まで1校もなくなり、高校教育の空白地帯を作る。
23	「骨子(案)」によると、総合学科は阿南工業の校地に設置するとあるが、もともと新野高校にあった学科を何故移さなければならないのか。工業科も含めて、JR沿線の交通の便のよい新野におくほうがよいのではないだろうか。近年の高校再編により、県南の高校は減りつつけている。海部郡内には1校しかなくなってしまった。過疎化が進んでいるとはいえず、県南にも子供はいる。阿南市南部や海部郡の子供は、通学だけでも時間と費用が多くなり、親の負担はたいへんなものである。徒歩や自転車を通える都市部に比べると「2人高校に行かせるのと同じ」くらいの負担である。駅から近い新野高校であれば、県南の広い地域からの通学も可能である。ただでさえ少ない子供を都市部に集中させてしまうとは、県南がますますさびれる要因となるだろう。「地域の産業の発展に貢献できる人材の育成」というのは、ただのうたい文句にすぎなくなるのではないか。地域のニーズに柔軟に対応して頂きたいと切に願う。教育を受けるチャンスは、すべての人にできる限り平等に与えられてしかるべきと考える。
24	今の再編計画にある阿南工業高校に工業科・総合学科、新野高校に農業科設置では農業科を希望する生徒が圧倒的に少なくなるとしか予想がつかない。少人数の分校を長く置いておけるとは思えない。生徒数に大きな違いが出すぎるのはどうかと思う。
25	新野高校は地域との連携が深く、地域からの熱い支援を受けている学校は県下でも数少ない。長い間、地域と学校が積み上げてきた連携や地域からの支援は、地域住民の宝であり、今後とも継続、発展させるためにも阿南工業高校校地ではなく、新野高校校地に高等学校(本校)を継続して頂きたい。
26	現在の新野高校は、総合学科として地域からの人気が高く、国公立大学への進学実績もできている。花いっぱい運動を続けており、市役所や駅などきれいな花を咲かせて運んでくれている姿は、素直なやさしい生徒さんたちでした。また、イシマササユリ保護活動にも毎年参加して自然の大切さをしっかり学ばれていた。実際に教育成果をこれだけあげていることをもっと評価して欲しいと思う。地域からもものすごく支援されている新野高校の総合学科は、今のまま、現新野高校に置いて頂きたい。徳島県阿南市の地元に残る若者をしっかり地元で育てていきたいと思っている。
27	子供の数が減り、分校になっていくと聞いて仕方ないと思うが、やはり、母校は、今のまま残しておいて欲しい。人数が少ないということは先生と生徒の結びつきも深く、野球部であれば、1年生からレギュラーをねらえる。
28	新野高校に誇りを持って行っているので再編計画には賛成はしていないが、子どもの将来を考えていく案となればよいと思っている。
29	新野高校と阿南工業高校の統合に反対する。両校の間の距離、地域性などを考慮したら、仮にどうしても高校再編が必要なら、他の高校との統合が良いのではないと思う。阿南工業高校よりも富岡西高校、富岡東高校が近い。また、比較的近くに那賀高校もある。那賀高校は元々新野高校の分校でもあった時期があり、このことから、どうしても統合が必要なら那賀高校が良いと思う。
30	計画案では、新高は分校になるとのこと……この先は廃校にされてしまうのでは、と考える。阿南市全体を考えたら、富岡周辺に3校(富西、富東、阿南工)が集中するようになる。阿南市の南(新野町)に活気がなくなるので新高を今の位置で存続してほしい。
31	今回の骨子案は、地域住民の意見を無視した県教育委員会の一方向的な押しつけである。白紙撤回して、もう一度校地の場所等を検討する機会を設けるべきである。
32	阿南市での地域説明会で「なぜ、新野に分校を置くのか」という質問に対して、県教育委員会は「本来なら阿南工業敷地に全部持って行くべきところだが、地域住民に配慮して分校(農業科)を残した」と答弁していたが、分校設置することが地域住民に配慮したことになっていない。
33	骨子案は、将来を見通した地域を担う人材育成という視点が見えない。通学の利便性で阿南工業に本校を置くという説明であったが、阿南工業の敷地は、JR阿南駅より遠く、ほとんどの生徒が阿南駅より自転車を使っており、通学に不便である。新野高校はJR新野駅より徒歩5分である。
34	新野高校総合学科を更に充実して本校とする。

35	新野高校は地域との連携が深く、地域からの熱い支援を受けている学校は県下でも数少ない。長い間、地域と学校が積み上げてきた連携や地域からの支援は、地域住民の宝であり、今後とも継続、発展させるためにも阿南工業高校校地ではなく、新野高校校地に高等学校(本校)を継続して頂きたい。
36	国の耐震改修期間に間に合わせるために、県南部の高校再編が拙速に行われているのであれば、本末転倒ではないのか。
37	今回の骨子案について、県教育委員会のなかでも異論があると新聞に載っていた。教育改革を担当している教育戦略課は教育に精通した専門家がいますのか疑問に思う。
38	新野高校の農業施設は外観も老朽化しており、中学生から見て魅力がない。現在の総合学科の系列では農業教育に成果が出ているが、地域から支援を得ることができず、生徒指導困難校となり、近い将来廃校になる可能性が高く、先見性のある明るい計画でない。
39	通学の利便性で阿南工業に本校を置くという説明であったが、阿南工業の敷地は、JR阿南駅より遠く、ほとんどの生徒が阿南駅より自転車を使っており、通学に不便である。新野高校はJR新野駅より徒歩1分である。
40	海部地域や丹生谷地域の生徒の通学の利便性からも新野高校校地に本校を存続すべきである。
41	今回の骨子案について、県教育委員会の中でも異論があると新聞に載っていた。教育改革を担当している教育戦略課は教育に精通した専門家がいますのか疑問に思う。行政的な色合いが強い骨子案になっていないのか。県教育委員会の内部から異論の出る骨子案では県民に納得してもらえないのではないのか。
42	阿南地域の骨子案は、将来を見通した、地域を担う人材育成という視点が見えない。単なる、切り貼りの発想であり、夢も希望もない。
43	阿南市地域の骨子案は阿南工業(本校)にとっても、分校(農業科)にとっても、単なる切り貼りの発想であり、県民にとって何一つ魅力を感じない。骨子案から将来を見通した、夢のある学校が見えてこない。
44	今、教育に求められていることは、学問だけでなく、人と人のあり方、社会においての一員としての心構えなど、人権教育、人間教育にも重点を置いていると思う。そういった現状を考えると、市街地に学校を設置するより、少し田舎に近いほうが地域とのコミュニケーションも取りやすいのではないのだろうか。町に近づくほど生活には便利だが、その分人と人とのつながりが薄く感じられないか。そういったことを考えた上で、地域の方々の支援を受け、学校、先生、保護者が協力し、次の世代を担う生徒たちを健全で、健やかな人間へと成長させることができる環境ではないかと考える。新野高を分校にするのは廃校への布石でないのか。
45	この素晴らしい新野高校を存続していただきたく切に願う。
46	伝統のある新野高校であり、阿南市で唯一甲子園へ行っった野球部があり是非存続して欲しい。
47	再編には、絶対に反対。工業が2校も要するのか。企業が少ないので県外にほとんど出てしまう。特に阿南工業は列車通学では駅から約3kmバス通学になり、乗り換えで非常に不便である。津波も心配である。新野高校は、何れ分校から廃校への道をたどるであろうと思われる。
48	過疎地域振興策と今回の高校再編計画には全く整合性がなく、むしろ地域振興と逆行している。この計画のように、阿南市～海陽町まで60km余りの間に、高校が1ヶ所もないという県は他県にはない。阿南中心に、なぜ5校(含む羽ノ浦校)も集中するのか。もう少し新聞紙上に発表する以前に地元の現状、県の過疎計画、校区、交通機関等を充分考慮し、机上論でしか考えられない人が委員となつては、正常な判断は出来ないと思う。現状を生かす具体策を示して欲しい。再編には絶対反対する。
49	富岡町内に2校、宝田町内に1校、わずか3ヶ所以内もある現状で、なぜ、阿南市中心より15キロ離れた新野高校を再編計画でなくするのか、理解に苦しむ。将来の阿南市発展の為、ぜひ新野高校残すべきであり、公平に考えても、私はそうあるべきだと思う1人である。行政が過疎化を生み出す様なことをして欲しくない。
50	歴史ある新野高校存続を希望する。市内に3校は必要ないと考えている。これからの県南の為に新野高校は絶対必要である。
51	長年地域に根づいた高校として今さらと感じた。OBとして甲子園出場2回も、市内の高校では名門だ。周囲のあたたかい援助や支援こそ、子供達の成長にかかせないものがあるのでは。もし分校化されると子供の勉学意欲が失われることが一番心配だ。農業高校としても他の高校の先端をいっているのではないのか。忘れないで欲しい。
52	再編は生徒の教育環境の向上、地域の活性化に結び付くものでなければならない。統合する高校の歴史、知名度、OB者数等々現状分析に加え、広く将来的にも考察を加えると今回の再編の場合、現新野高校校地に本校を設置することが適切であると考えられる。阿南市及び周辺地域の現高校の分布状況は市街地集中化傾向にある。新野地区を本校として地域バランスを保つ必要がある。少子高齢化と共に過疎化が進む地域活性化は重要課題である。若い高校生が多いことは地域活性化の一環となる。登下校時等交通アクセスの利便性、安全性から、新野校地はJR駅より近く徒歩で通学可能、また阿南以南地域(美波町以南)からの生徒受入れも容易である。教育環境面を見ると、市街地から少し離れ、山に囲まれ、清い川は流れる自然環境に恵まれ、静かな周辺状況から教育を受けられる環境が非常に良い。国は少子化対策を検討し進めており、地方においては今後人口減少が進み高校の統合、整理等が必要となる事は考慮すべきである。この場合は分校整理なれば校地活用(跡地利用)は現阿南工業校地の方がメリットが多い。
53	学校の歴史、地域性等から判断し、将来性ある現在の総合学科の拡大、バイオ等化学(農、林、化学)分野も取り入れた特色ある学校を編成すべきである。むしろ、那賀高校、阿南工業を新野高校に統合すべきである。新野地域は、学校環境は市内で一番良い。JR等交通の便が良い。桑野～福井道路も完成に近く、バス通学も可能である。新野高校の校区には、中学6校と日和佐、由岐があり、非常に多い。
54	歴史ある高校の名称がなくなることは非常にさびしい。新野高校の存続を希望する。

55	新野町活性化の為、阿南市内高等学校の定員数を均等配分する。
56	現状案では、阿南工業と新野高校を統合して、本校は阿南工業、新野は分校のようである。そうなると、南部の高等学校がなくなり通学上不便になるので、新野高校を本校として残す方が良いと思う。
57	南にも1校くらい残して欲しい。
58	都市に高校を集中する必要があるのか。規模を小さくしてもそのままの状態置いて欲しい。
59	阿南地区南部に新野高校を本校として置いて欲しい。分校になれば生徒数も減り、南部地区がますます取り残されて行くような気がする。
60	今回の骨子案は経済的が第一で、生徒の為、地域の為等が欠けており、中立的に見ても反対である。より多くの人が賛同でき、また卒業生が地元に着定できるような案にして欲しい。
61	今まで通り新野高校の存続を希望する。
62	総合学科のある新野高校として存続して欲しい。
63	今まで通り新野高校の存続を希望する。
64	総合校は、新野高校に置く。
65	総合校は、新野高校に置く。
66	高校生のボランティア活動が活発に行われている事により町内が活性化している。新野駅周辺の清掃、町内のゴミ拾い、伊島のササユリの保護活動、又高齢者施設への訪問等々、高校生の若さと笑顔で高齢者や施設職員も楽しい時間を持つことが出来ている。学校が休みの日等、町はゴースタウンさながらである。新野高校が存続する事で新野町も生かされていく。
67	骨子(案)の説明会に出席させて頂いたが、骨子(案)の説明のみで知りたかった「どうしてこの内容になったのか」という理由の説明がなく不満であった。通学に関しては、工業高校が本校になった場合は同地区に他2校の高校があるので今以上に阿南駅の混雑が予想できる。その上駅から遠いのではないかと。新野が本校の場合は混雑もなく、駅から近いのいいと思う。配置についての質疑応答で、専門高校なので、他の普通科高校と同地区になっても問題は無いとの回答があったが、全く答えになっていない。専門高校であれ、普通科高校であれ、広い南部地域内の一部に3校もの高校が配置されるのは明らかにおかしい。新しい高校ができるのではなく、あくまで再編計画なのでわざわざ同地区にまとめるのはおかしい。子供達のことを一番に考えたとも回答されていたが、それだけでは子供達の為にはならない。地域との連携も必要、その点では新野は地域でのボランティア活動等があり、地域全体のまとまりがある。
68	今回の骨子(案)については、県南域の高校校地のバランスや地域住民の声を十分に反映して欲しいと考えている。特に、校地については、利便性や県南域の配置からも阿南中心地と海南との間で良く、JR新野駅から生徒も徒歩数分であり、すぐれていると考えている。新野高校現校が良い。何より地域に根ざした、地域と共に学ぶ、応援する、してくれる支援面も非常に大きいと考えている。県南部域全体を考え、一極集中ではなく、防災面、地域支援のある校地配置が、必要であると考えている。
69	新野高校を存続して欲しい。新野高校は駅に近いが、阿南工業はそういう交通面ではとても不便である。伊島の「ささゆり」保存している新野高校である。野球場等の運動設備、環境が優れている。
70	新野高校が無くなれば新野町の活気が失われるのではないかと。
71	説明会では、県は既に骨子案以外の選択肢は考えられないとの答弁内容に終始した事に愕然とした。最初から工業本校・新野分校との案ありきで、参加者に理解して欲しいと、誰の質問に対してもそう言った答弁内容であった様に思う。
72	地元発展のために新野に残して欲しい。
73	新野高校はそのまま地元に残して欲しい。
74	新野町に出来るだけ残すべきである。
75	地域配置を考え、分散で新野に本校を残して欲しい。
76	新野町に高校を残して欲しい。過疎につながる。
77	県教委は学校の位置問題について学校の現状、交通の利便性、地域のバランスなどを総合的に判断するとの考えを示されていた。先日の地域説明会では、交通の利便性が通学の利便性に置き換えられている事に、又地域のバランスについては県下全体の職業高校の配置から考えた説明され普通高校とは区別した発言であったが、工業の位置に本校を置きたいと言う考え方が先行しており工業高校と普通高校を区別するのであれば当初から「新しい学校づくり地域協議会」の中で、その事の説明すべきであった答だったり、いずれにしても納得出来ない話である。骨子案の農業科のみの新野への設置は、県南地域の農業希望者が10数名と言われていることからしても存続は出来ないものと思う。希望していない生徒を無理矢理定員募集合わせにする農業科に反対である。骨子案をそのまま押し進めるのであれば、県教委は将来にわたり大きな禍根を残すものとなる。これらの教育問題だけの判断でなく、県全体の地域づくり、バランスの観点から、新野に少なくとも現状の総合学科85名体制の本校を残すべきであり、県教委の骨子案については、再考を強く求める。
78	新野高校については骨子案説明時、要望意見の中で述べていたが設立時に先代が築いた貴重な財産を売って資金の一部に提供したと言う事もあり、又場所としても駅から近いし、何時か来るかも知れぬ大きな災害にも桑野・福井両道路が出来ればますます安全・安心な場所であろうと思う。計画案では、新高は分校になるとのこと。この先は廃校にされてしまうのではないかと。
79	地域を考えると新野高校は、現在の場所にあった方が良いと思う。
80	地域が困る。地域に元気が無くなる。県南に高校が少ないと思う。

81	なくなったら地域が困る。どうか、新野高校を残して欲しい。
82	高校再編計画での校地の位置問題については、新野町はじめ県南部の人口は減り続け、特に若者はすさまじい勢いで市・中心部等へ流れている。JRも便が少なく、日常生活においても不便を感じている。海部郡の高校生などは学校が遠い為、親元を離れ、学校近くに下宿している子もいるようである。親が毎朝、早く起きて子の為に弁当を作り、子は親の愛情を確認しながら弁当を食べる。若い時にはわからなくても、年を重ね、経験を積んでくると、親のありがたみを感じる思い出の一つとなる。そういう親や家族の絆を断つ結果になるような判断をし、県教委の効率的な位置というのは弱者切り捨てであり、そのようなことをしても良いのだろうか、疑問に思う。
83	地域を考えると新野高校は、現在の場所にあった方が良いと思う。
84	少子化が進む中で時代の流れとして、学校の統合があちこちで行われているが、昔から地域に深く関わりを持ってきた新野高校が農業科だけに再編されると市街地からはなれた新野町が益々衰退してしまう。また、若い人が段々と農業ばなれしている現在において、高校受検をひかえた中学生の中で農業を志して農業科を受検する子が、はたしてどれだけいるのかも疑問に思う。農業科が再編されても、受検生(学生)が新野高校を志望校として、選ばないとしたら、学校の存続自体が徐々にきびしくなるのではないか。実際に農業人口が減少していることから考えてみても、現行案は時代に逆行していると思う。なんとか、変更をお願いしたい。
85	本校、分校とする案もあるようだ、意味がないように思う。意味があるとするならば、将来、分校を廃校にしやすいついた利点だけに思われる。総合学科がなくなれば生徒数が減少し、新野駅前のみならず新野全体に活気がなくなり、各店舗の収益にも影響がでることは必然である。町全体が衰退していく危険があり、いずれ、高齢化する農家にも影響がある。農業科の存続が危ぶまれる将来が来るのではないだろうか。新野町から学校が消えていく。
86	新野の住民として地域の活性化のためにもぜひ新野高校の校地に統合をお願いする。
87	阿南市中心街富岡町に高校の一極集中を避け、バランス良い市発展と地域活性化に努めるべきと考える。新野町の豊かな自然と災害に強い立地条件を生かし魅力ある高校再編を思考したい。
88	海部高校より阿南(富岡地区)迄に高校は新野高校しかなく、地域的には是非共新野高校は存続して欲しい。
89	新野高校は絶対今まで通りの高校としておくこと(なぜなら海陽町まで高校空白地帯になるから)そして普通科と農業科において、県南から人材が中央へ町へ出向かないよう食い止めないといけないと強く要望する。
90	阿南市内中心には、富岡西、富岡東、国立阿南工業高等専門学校と本件合わせて4校あり、進路選択が出来るが、新野高校を分校にし農業科のみの学科では、海部高校から阿南市内中心までの間の生徒の選択学科は選択の余地がなく、勉学の場が失われる。新野高校を本校として残し、普通科、農業科、林業科及び富岡東の商業科、更に阿南工業の電気科等を移設して、選択の場を増やすべきである。農業科一つにして、総合学科を阿南工業に奪われ、先には廃校にする予定なのか。遠路通学することになれば、通学費用と苦労を考えると保護者の心労も大である。
91	新野高校を分校にする案には反対である。
92	統合の新校地は均衡のある地域づくりの展望や周辺の都市部の発展を十二分に考慮して、阿南市の中心市街地に一極集中化をさせないことである。新しい高校は、協議の記録書にあるとおり、県南部健康運動公園の各施設を存分に活用できる場所・位置であること。また、統合された高校は、将来に起こり得る、3連動の地震に伴う津波などの被害を絶対にうけない場所・位置であること。後顧の憂いを残さぬよう最善、責善の策を持つこと。新高校は、今後の県南地域を基盤に据えて、高度な最善の政治的判断と、教育行政に負託された使命と責任の為に「新野高校の校地に統合高校を設置されるべきである」と考える。
93	難しい事は分からないがすでに日和佐高校がなくなっている。市南部地域の住民の声を聞いての統合計画なのか。
94	高校再編計画を進めている間に工業高校へ大規模な施設整備の投資をするなど地元新野町からすると工業ありきのような感じがして活動や声が無視されているように思う。
95	県南地域の振興や活性化に対して、富岡地区に3校が集中するのは避けるべきである。
96	高校再編計画については、新野高校を何としてでも独自の高校として残して欲しい。
97	県教委の考えでは、農業で分校として残し希望者の無くなるのを待つ新野を廃校にと考えているようみうけられる。
98	海陽町から阿南市街まで高校がないのでは地域の衰退が著しくますます都市に中心の教育となる。学校の通学では、JR線を大いに利用すべきである。東南海震災に備えても新野の標高を1つの選択肢とする。
99	県南地域の生徒数の推移を見ると大幅な減少はなく、高校再編するには時期尚早ではないか。再編せず現状のままでもよいのではないか。
100	海部地域や丹生谷地域の生徒の通学の利便性からも新野高校校地に本校を存続すべきである。
101	阿南地域の骨子案は、将来を見通した、地域を担う人材育成という視点が見えないように思う。現新野高校を分校にする案には反対である。
102	阿南市での地域説明会で「なぜ、新野に分校を置くのか」という質問に対して、県教育委員会は「本来なら阿南工業敷地に全部持って行くべきところだが、地域住民に配慮して分校(農業科)を残した」と答弁していたが、分校設置することが地域住民に配慮したことになっていない。分校は置かないと言っていたのにどうして新野が分校となるのか。

103	自宅が通学路に面している為、毎朝活気ある学生を見て元気をいただいている。新野高校が無くなれば、新野の活気までなくなってしまうのではないかと残念に思えて仕方ない。地元商店やコンビニに学生がいるだけで雰囲気は明るくなり、商店は繁盛すると思う。なので新野高校の存続を希望する。
104	通学の利便性で阿南工業に本校を置くという説明であったが、阿南工業の敷地は、JR阿南駅より遠く、ほとんどの生徒が阿南駅より自転車を使っており、通学に不便である。新野高校はJR新野駅より徒歩5分である。
105	新野高校総合学科の系列に工業系列を設置すれば良いのではないか。
106	本校と分校で分けるのにどうして新高校として、合併する必要があるのか。国公立大学への進学の実績もある。個人の成績の向上のため、先生方は、努力して下さっている。
107	総合学科ができてまだ10年である。生徒たちの色々な可能性をのばして行く方向でがんばって欲しい。
108	通学の利便性で阿南工業に本校を置くという説明であったが、阿南工業の敷地は、JR阿南駅より遠く、ほとんどの生徒が阿南駅より自転車を使っており、通学に不便である。新野高校はJR新野駅より徒歩3分である。
109	新野高校の総合学科での農業教育は新たな視点で農業教育に取り組んでおり、国公立農学部等に進学させるなど成果をあげている。県南地域の農業後継者養成のためには、農業科の設置では後継者は育たない。ぜひ、今の総合学科の系列で農業教育を存続、発展できるようにお願いしたい。
110	新野高校総合学科を更に充実して本校とする。
111	新野高校は地域との連携が深く、地域からの熱い支援を受けている学校は県下でも数少ない。長い間、地域と学校が積み上げてきた連携や地域からの支援は、地域住民の宝であり、今後とも継続、発展させるためにも阿南工業高校校地ではなく、新野高校校地に高等学校(本校)を継続して頂きたい。
112	農業の大切さは十分に理解しているはずだが今の状況で農業科を設置するのは、生徒募集からしても、地域の支援を受けられないだろう。そうした学科をなぜ設置しようとするのか。地域から支援されている総合学科の継続を望みたい。
113	阿南地域を考えると、骨子案では阿南駅(富岡町)周辺に3校(富東、富西、新高校)が存在することになる。阿南市南部や海部郡内の子どもたち、また丹生谷の子どもたちの存在もないがしるにしないで欲しい。地域バランスからして新高校を現新野高校の校地に設置することが適切なのではないのか。
114	新野高校として現在地に存続を望む。総合学科として定着し、普通科にはない特色ある分野で発展してきたのに、今までの努力が無駄になってしまう。校舎の耐震工事の期限に合わせての合併は納得がいかない。少子化に伴い生徒数の減少という問題はあるけれど個性を生かした教育としては、新野高校は最高の高校と思う。
115	国としても、農業がこれから大切との方向であるのに、農業教育はどうなるのか。学生の若い時に、多くの動植物にたししみ、農業の楽しさをしり、先端のバイオなど、農業技術を学ぶ所が、なぜ、分校でなくては行けないのか。新野高校は、本校として残すべきである。
116	現在でも新野は過疎化が進行しているが、分校により、益々過疎化が加速される。人が集る場所が少なくなるのは過疎化を進める。更に、このことにより、阿南市自体が過疎化を進めることになる。富岡には、富岡西、富岡東、富岡東羽ノ浦分校、阿南工業と4校がある。富岡に集中しすぎだと思う。
117	何故、阿南工業の分校なのか。分校という名称では、新野高校の存在価値は無いに等しい。県南全体のことを考えるときに阿南中心地、市街地に3校を集中させることは考える余地があるように思う。また、先では那賀高校のことも問題になるのではないのか。地域の学校がなくなることはその地域がさびれていくことにつながり、地域の子供たちにも影響するものと思う。現新野高校は自然環境もよく、駅からも近く通学には便利かと思う。地域の子供たちのためにも是非新野高校を分校にせず存続できるようお願いしたい。
118	新野高校は地域との連携が強く、地域から熱い支援を受けている高校は県下でも数少ない。県の教育振興計画にも地域との連携の重要性が謳われており、今後とも、より発展させるためにも新野高校の校地に本校を存続して頂きたい。将来的に海部、那賀から通学の利便性を考えてみても新野高校の校地に本校を存続すべきである。
119	海部地域や丹生谷地域の生徒の通学の利便性からも新野高校校地に本校を存続すべきである。
120	通学の利便性で阿南工業に本校を置くという説明であったが、阿南工業の敷地は、JR阿南駅より遠く、ほとんどの生徒が阿南駅より自転車を使っており、通学に不便である。新野高校はJR新野駅より徒歩4分である。
121	現新野高校は総合学科として地域から人気も高く、国立大学への進学実績もできている。今回の再編案は、新野高校だけにしわ寄せした形ではないのか。阿南市地域の再編統合にあたって阿南市内に高校が集中するのは無理がある。結局阿南市全体のバランスを考えれば新野高校を残すのが望ましい。
122	海部郡地域や丹生谷地域の生徒の通学の利便性からも新野高校校地に本校を存続すべきである。福井、新野、桑野、山口、橘、椿地域の子供のためにも新野高校を絶対に残さなくては行けないと思う。
123	新野高校は地域との連携が深く、地域からの熱い支援を受けている学校は県下でも数少ない。長い間、地域と学校が積み上げてきた連携や地域からの支援は、地域住民の宝であり、今後とも継続、発展させるためにも阿南工業高校校地ではなく、新野高校校地に高等学校(本校)を継続して頂きたい。
124	新野高校を地元に残して欲しい。もっと良い方法があるのではないか。
125	骨子案では、今の現状と同じ事ではないか。無理に分校(新野)にする必要がないと思う。新野に高校を残して欲しい。
126	地域の方々の意見を、考えを聞いているのか。地域の方々は、皆さん以上に真剣に新野高校の事を考えている。もう少し議論を重ね慎重に決断して欲しい。

127	新野高校を分校とする事で益々、町自体に子どもがいなくなり、活気がなくなってしまう。新野より南の地域に高校がないということですので、町に子どもがいらない現実を理解して頂き、新野高校総合学科を置き地元から通える(高校で)状態であって欲しい。
128	新野高校総合学科が町からなくなってしまう事はさみしすぎる。若者がいなくなってしまうと、地域の活性化に協力し地元を盛り上げたい私の夢がなくなってしまう。
129	町民の意見・賛成を聞く事なく(説明なしで)一方的に、分校として再編してやっていく事を聞き、不満を感じている町民がたくさん居る事を理解して頂きたい。農業離れが多い今、これから農業科のみでやっていける保障はあるのか心配である。
130	統合するのであれば、新野高校本校、工業分校を希望する。
131	本校と分校として2校置くのなら、現在の形のままの教育を継続してはどうか。
132	通学の利便性で阿南工業に本校を置く説明があったが、新野本校の方がJRも近いはずである。おかしいと思う。
133	今回の骨子案は、住民の意見を無視している。もう少し、納得のいく説明が欲しい。新野高校は歴史ある学校である。もっと議論するべきであると思う。
134	阿南地域の高校再編骨子案については、地域住民の意見を聞いて、もう一度考え直して欲しい。
135	今回の骨子案には、無理があると思う。もう一度、子供の為の高校づくりをお願いしたい。
136	今回の骨子案は納得がいかない。住民の意見も聞いて欲しい。
137	南部に高校がなくなり、子供・親の負担が多くなるのではないのか。阿南市内中心に国立含めて4校もの本校は必要なく、分校にし廃校する流れには到底納得できない。総合学科の歴史は新野高校が築いたもの。なぜ、それが阿南工業に移す必要があるのか。
138	地域住民の納得のいく説明をして欲しい。南部に高校を残して欲しい。
139	新野高校を総合学科本校として残して欲しい。
140	生徒数の増減があるとはいえ、阿南地区はまだ、10年程は大丈夫だと聞いているので、いけるところまでいったらどうか。
141	通学の利便性で阿南工業に本校を置くという説明であったが、阿南工業の敷地は、JR阿南駅より遠く、ほとんどの生徒が阿南駅より自転車を使っており、通学に不便である。新野高校はJR新野駅より徒歩5分である。
142	市内中心部に3校集中した場合に阿南市南部や海部郡の生徒の通学が不便になる。農業科だけでは魅力もないし、定員にも満たないのではないのか。普通科又は総合学科を従来通り、置かないと魅力ある高校にはならないと思う。
143	新野高校は駅に近く便利が良い。富岡東、富岡西、阿南工業では3校が固まりすぎではないかと思う。阿南市南部にも高校は置くべきである。
144	阿南市の中で高校が阿南に集中してしまわないよう、南部の子たちのことも考えてあげることも必要である。新野町も、新野高校があることで栄えている。もし、阿南市中心部の方へ行った場合、新野町もすたれてしまうと思う。阿南市全部が平等に発展していく為には、かたよってしまうことだけは避けなければいけないと思う。
145	日本の未来を担う、子供達の事を最優先に考えて欲しい。統合する事ではなく、地域に密着した高校づくり、魅力のある高校づくりをして欲しい。人口が少なくなったから統合するのではなく、まず、生徒数が増えるかアイデアを出して見て実行して欲しい。
146	阿南市中心部だけに集中するのではなく、南部地区にも高校を置くべきだと思う。
147	すべての生徒に高校教育を保障することを軽視し、生徒の学びの変質、階層化に直結しかねない多様化を進める事は反対であり、規模と配置の適正化の名の下に、統廃合を進めるのには賛成できない。学校の統廃合は、一律の基準ではなく、それぞれの地域の実情や思いを考えながら進めるべきである。ひとつの学校に学力差のあるふたつの学校を生む様な方向に進むことは許されるべきではないと思う。
148	阿南工業は、交通の便が悪く、生徒の為にならない。
149	新野の総合学科であったものを、わざわざ阿南工業に総合学科をうつす必要があるのか。統合するのであれば、新野に総合学科と農業科を置き、工業科を、分校としておいても同様のことはないのか。統合する意図が理解できない。子供達の為にもならないと思う。
150	今回の案は、地域住民の意見を無視したものである。もう一度白紙に戻し、どうするべきか、考えるべきだと思う。
151	10年前に総合学科を設置し新たにスタートした新野高校。教育成果をあげ朝の挨拶運動に始まり地域住民からも支援されている高校を生徒の減少により再編するのはどうかしている。新野町に高校がなくなると阿南市街地から海陽町まで高校空白地帯になる。子供達の未来のため、地域の衰退を防ぐため絶対に新野高校を残さないといいないと思う。

152	<p>県教委のパンフレットによれば、「より良いものになるように」意見を聞かせて欲しいとしている。つまり骨子案は「良いもの」という前提である。これ自体が事実を成していない。この骨子案は、阿南市で一番不便な高校を本校とするなど、常識で考えてとても理解しがたい驚天動地な内容であり、納得できない。「良い」などという要素は一切皆無である。論理的、常識的に考えて、この骨子案で理解を求めるとは、相当な説得力が必要である。県教委は、この骨子案は重度の欠陥があるという認識を持つべきである。今回の地域説明会における議論では、県教委側の人間の発言録を見ると、財政負担を抑えたい趣旨の発言が少なくない。県教委こそ子どもの事を最優先にせず、大人の事情で判断しているのが常ではないか。実際に子供を持つ地域の声こそ、子どもの事を考えるとよかる。</p> <p>県教委は、少子化したから再編するのだとしている。しかし実際は逆ではないか。教育環境こそが少子化を助長する要因である。通学において鉄道が必ず必要な地域とそうでない地域があれば、子供を持つ家庭が居住地を選ぶとき、コスト面で前者は避けるのが一般的感覚である。新野高校を廃校にするための布石であるのが明白である。県教委はこうした地域への影響に対して責任を持つべきである。県教委は単純に人口だけを見て、この富岡周辺に高校を一極集中させようとしている。人口減となっている新野地域から高等教育の場を奪おうとしている。教育とはすなわち努力の事だと言い換えることができると考えるが、自己努力の結果と言い切れない人口動態にあたって、教育委員会がこのような対応をするのはおかしい。それどころか、学校という“努力する場”そのものを奪おうとしている。この骨子案はとても容認できるものではない。高校の一極集中の正当化はあまりに無理がある。阿南市で最も鉄道の駅から離れている工業高校を、本校として優遇するのはどう考えても強引である。新野高校こそが鉄道駅の近さによって通学利便性が十二分にカバーされているとみなすべきである。仮に工業高校が廃校になっても、工業高校周辺地域の子どもは、1kmほど足を伸ばすだけで他の高校があり、豊富な選択肢が準備されている。いっぽう新野高校は、廃校になる、またはこの骨子案を適用するだけでも、周辺地域の子どもは選択肢が大幅に狭まり、直線距離であっても11kmもの遠方まで通う事を余儀なくされる。</p>
153	<p>県南の高等学校がなくなると通学に不便である。マンションやアパートを借りてまで通学するとなると諸経費もかなり家計に負担がかかるので、ぜひ、県南に残して欲しいと思う。子供の人数も少なくなってきた時、本当に大変だと思われるが、交通事情も考え保護者に負担のかからない方法があればよいと思う。また遠いところから通わなければいけないのであれば、寮をつくるとか何かあればいいと思う。総合学科と農業を切り離すのではなく、子供たちが自由に選択できる環境を多く作ることが大事ではないかと思う。ぜひ未来の子供たちが、社会に出ていけるような技術や勉強のできる環境をつくらなければいけないと思うので、ぜひ県南に高校を残して欲しい。</p>
154	<p>地域説明会での分校農業科のみの考え方は、農業県でもある徳島では基幹産業と位置付けられ、農業は重要でありその必要性は深く認識するものの、分校の農業科のみの学科では活かされるものでないと思う。今農業を学ぶ生徒も総合学科の中で生き生きしているのだから分離開立、分校化した単独農業科は大きな問題となる事は明白であり、農業科は現状の新野高校の「総合学科」の中で生きているのである。高校の位置問題についての説明は、如何にも市中心的な位置に軸足を置いた説明であり、地域切り捨て複雑な心境で認められない。中心部から5km圏内に富岡西、富岡東、阿南工業、阿南高専、富岡東看護学校と5校があり、その圏外懸隔に海部高校、その間に申し訳程度に分校化した農業科設置は、将来の少子化時代といえども、中心への集中化一辺倒であり、意義を唱える。新野高校を現状のまま残すことが農業科を活かす道であり、大きく県南部地域全体から高校の配置を考えたとき、私達地域が求めているのは「新野高校への統合」が最善の策定計画である。</p> <p style="text-align: right;">(15名の連名)</p>

※ いただきましたご意見の中で、個人情報等に関わる部分につきましては、その趣旨を損なわない範囲で、削除させていただきます。